

秋の活動者会議

○と き 9月3日(日)
午前10:00開会
○ところ 全理連会館



編集及び発行人

東京土建一般労働組合新宿支部
新宿区北新宿 4 丁目33番 9 号
新建ビル 3 階 電話 (3362) 2161
<http://www.duken-shinjuku.jp/>
定価 1 部 50円 (購読料は組合費に含む)

悲惨な歴史くり返すな

平和の尊さ語り継ぐ



高井重徳さん

昭和20年代になると毎日のように昼夜を問わず、空襲警報が発令され、グアム島およびサイパン島を飛びたつたB29により、東京やその他の地方都市も片端から爆撃され、まず下町がやられました。

戦争の恐しさに震えるばかり

淀橋・高井重徳

昭和20年5月23日夜から24日の明け方にかけて、山の手方面もB29により無差別焼夷弾攻撃を受けました。その日あいにく父は仕事で留守でした。兄は招集され満州に行き、淀橋の自宅には、私と母と姉そして弟たちがおり、いつものように、いつでも逃げられるように着衣を身にまとったままリュックを枕元に置き、就寝しました。しかし、今夜はいつもと様子が違う。外に出てみると焼夷

げました。青梅街道を中野坂上の方へ行き、火の手が上がっていない塔の山の前を通り、山の手通りを東中野の方面に逃げて来ましたが、東中野駅前から先は火の手があがり、先に行けません。逃げまどう人たちでごったがえし、しかたがなく、引き返すことにすると、今度は坂上や塔の山一帯がものすごい勢いで燃えている。前にも進めず、引き返すこともできず、氷川神社の前の山の手通りの下

弾が燃えながら落ちて来る。これは大変だ。すぐに引き返し、母と姉、弟たちに大切なものを持って逃げるよう促し、我が家を後にしました。一番大切な食糧は途中防空壕に入れて、神田川を渡り、中野方面に逃

を流れている小さなドブ川に入り、みんなで夜明けを待ちました。明るくなつて通りに出ると空襲はおさまっていたましたが、あたり一面は焼け野原でした。とにかく家に帰ろうと向かっていると塔の山にはたしか三重塔が立っていたと思うが、焼け落ちており、まわりの空き地の防空壕の中から、助け出された一人の少女が大やけどで口には下を噛まないように小枝をかまされ、戸板に乗せられ、病院に向かうところでした。

され、戸板に乘せられ、病院に向かうところでした。

この暑い8月の準備期間に組合員、事業所の仲間が未加入者の紹介活動がどれだけできるかが力ギです。

8月は月間の準備を

8月になると思い出されるのは、広島、長崎への原爆の投下であり終戦のことです。あの悲惨な戦争を繰り返さないと誓った日本の憲法9条を変えて、ふたたび戦争のできる国にしようという動きがおこり、小泉改革では様々なところで格差が増大し、多くの一般

ら仲間を守る運動を強めなければなりません。

9・10月は仲間を増やす拡大月間に入ります。

一人でも多くの
紹介者をふやし、
月間の目標支部1
10人を達成し、数の力
で平和と暮らしを守りま
しょう。

あの少女の顔、助けてといっている少女の目を今でも忘れることができません。途中、浅田味噌工場も焼け、焼け焦げた味噌のにおいが鼻をつきます。食糧のない時になんともったいないこと。

神田川にかかる淀橋をわたり、しばらく行くと焼夷弾にやられたのか男性の仏様が横になっていました。戦争の恐ろしさに子どもの私はただ震えて、お祈りをするだけでもきませんでした。

やっと我が家にたどり着きました。が、一帯は焼け野原で、我が家の焼け跡から

は焼け残った淀橋病院（現東京医大）が見えました。焼けて溶けてしまった水道管から悲しげに水がチョロチョロと流れていました。防空壕に入れて逃げたあの大切な食糧、配給でもらえたばかりの大切なお米は全部盗まれてしまいました。

無事父にも会え、父に代わって家族を連れて逃げたことを褒められたのを覚えています。この時、私は16歳でした。

このような恐ろしい戦争は絶対に反対です。そして平和憲法9条の改悪にも絶対に反対です。

核兵器のない世界をつくらう！平和憲法を守ろうと全国を歩く国民平和大行進が今年も行われました。

行進が新宿に到着したのは7月26日。猛暑の中、区役所には100人の仲間が集まりました。

区長や区議会議長からの
メッセージのあと支部を代
表して、坂本彬教宣部長が
「憲法9条は日本だけのも
のでなく、世界中の人々の
ものに。みんなて手を携え

いと思います」とあいさつしました。

区役所から靖国通り、防衛庁、後楽園と進むうちに行進はどんどん列が長くなり、終結点の上野東照宮で行われた集会には最後まで歩き続けた支部の仲間8人も参加し、冷たいお茶で労をねぎらいました。

核兵器のない平和な世界を
国民平和大行進

区役所から上野東照宮まで



をとめ山

デューズ太平洋

戦争の硫黄島の闘いのドキュメンタリーが放映されました。ご存知の通り、硫黄島の

激戦で米軍も日本軍も多くの兵隊が死にました。そのドキュメンタリーのなかで、米海兵隊は、日本軍の攻撃ではなく、米海軍の艦砲射撃により、千名近い死者が出たと言います。その犠牲になった兵隊の母親は、「18年育ててきて、18カ月の兵役で、殺されてしまった。政府はきちっと説明してほしい」と訴えていました。戦争では、何千万の人たちが死にました。そして、戦争がなんであるのかを知らない、子供や赤ちゃんと、戦争とは関わりなく生活していた、アジアの人たち、多くの人たちが犠牲になりました。

になりました。

「北朝鮮」が先日、日本海に「ミサイルをぶちこんだ」とき、ポスト小泉候補の安部晋三は「今度、このようなことがあったら報復攻撃をしてやる」と発言していたが、犠牲になるのは、金正日氏でもなく、多くの「北朝鮮」の市民です。この人のお祖父さんは、東條内閣で商工大臣をやり、戦争で大儲けをし、1960年には総理大臣にもなった岸信介だから、庶民のこと、も人の命の大切さもわからない、お坊ちゃんです。今年もまた私は、ネムの木の木に咲く信濃の無言館に行きます。美しき裸婦像描きし画学生もルソンに死にき戦争とは悪。(松田みき子)

とは悪。(松田みさ子)

戦争の傷あと



大野守さん

原子力空母来るな 7.9横須賀集会と横田基地

落合西・大野守



横田基地大集会

東京湾は日本の要と言え
る場所です。横浜港や東京
港、千葉港などがあり大型
の貨物船や豪華客船が行き
来し、つり船などのレジャ
ーも盛んな海です。
そこへ30万Kワットの原
子力のエンジンを持つ原子
力航空母艦が東京湾の入口

横須賀に來ます。
米軍は安全だと言ってい
ますが、原子力空母は最高
の軍事機密です。
万が一事故がおきたら、
横須賀周辺だけでなく、関
東周辺に多大な被害を与え
るでしょう。
7月9日横須賀に原子力
空母の配備反対の集会が開
かれ、3万人もの人たちが
集りました。
集会では、米軍基地の再
編強化で、被害を受ける、
北海道や沖縄、岩国の人た
ちから連帯のあいさつがあ
りました。
そして、今年一月に、空
母ギティホークの水兵に奥
さんを殺された、佐藤良重
さんは、「米軍基地がある
から、こんなことがおきた
んだ、原子力空母がきたら
もっと、ひどくなる。一日

も早く米軍基地をなくした
い」と怒りの発言をしまし
た。
集会後、二つのコースに
わかれて、デモ行進をおこ
ない、横須賀基地ゲート前
では「ゴーホーム、ネイビ
ー」とシュプレヒコールし
抗議行動をおこないまし
た。
7月20日には、東京土建
本部の学習会で横田基地を
見学。広大な敷地、長く延
びた滑走路、そして緑の中
の立派な米軍人の宿泊は、
周辺の敷地ギリギリに建つ
日本人の住宅と好対照で
す。
ここに政府は毎年2千億
円の血税を使っています。
首都の人口密集地に、危
険な基地など、本国アメリ
カにもないでしょう。



鈴木隆昭さん

学童疎開と学徒動員

牛込東・鈴木隆昭

あれからもう半世紀も過
ぎてしまった。太平洋戦争
も日本に不利になり、都会
の学童たちは地方の農村に
行かなければならなくなっ
た。淀橋第6小学校の6年
生だった私たちは親元を離
れて群馬県の安中市の山の
奥のお寺へ学童疎開に行く
ことになりました。
田舎のなかった都会っ子

にとって山あり、川ありで
初めは物珍しいことばかり
で楽しい思いがしたが、親
や兄弟たちと別れてきたの
が淋しくなりました。
お寺の住職さんや農業の
人たちも皆、親切で食糧も
持ってきてくれて大変助け
られました。やっとなれた
集団生活も中学校進学のため
に昭和20年3月に帰京し
ました。その日から昼夜を
問わず空襲に見舞われ、怖
かったです。中学校に入學
しても今度は学徒動員で毎
日品川の薬品工場へ行き、
勉強どころではありませ
ん。



終戦直後の「黒塗り教科書」(連合通信)

5月25日の空襲で我が家
も焼け、7月に埼玉県の深
谷町へ疎開し、軍事工場で
働き、8月15日に終戦を迎
えました。初めて見た米
軍。トラック2台で皆自動
小銃を持っていました。が、
恐ろしさはなく食糧品など

を置いていって
くれました。9月
になり、熊谷飛行場
の米軍基地へ兄の
代わりに働きに行
きました。米軍
の物量を目の当た
りに見て驚くばか
りでした。
身内にも下町の
大空襲で一家全滅
になり、戦死した
人もいます。
昭和19年から20
年の終戦までの1
年間に人生の大半を体験し
てしまいました。世の中を
知らなかっただけに苦労と
は思わなかったが、これか
らの日本がどうなるのか心
配です。憲法を守り、平和
を築きましょう。



40年前の村松公園の桜の一部



梁取三郎さん

ふるさと自慢

越後の城下町、村松

四谷第1・梁取三郎
(ハウスクリーニング)

私のふるさとを紹介しま
す。新潟奥の中部、中蒲原郡
村松町という城下町です。
遠くに菅名岳白山を望
み越後平野の真中、こしひ
かりで有名な田園風景が続
きます。桜まつりで賑わう
4月半ばには約3千本の桜
が咲く、小高い丘愛宕山の
麓に村松公園があります。
村松の牡丹も有名で皇居
の庭に昔エプロン姿の田舎
のお母さんたちが植えた牡
丹がたくさん咲いていま
す。

ず、見事に復興しました。
早出川というきれいな川の
水で鯉の養殖も盛んで、鯉
の旨煮、あらいもとても美
味しいです。
新潟はあまりスポーツが
強くないけれどメキシコオ
リンピックで体操メダリ
スト加藤次男も我が村松の
出身です。新潟県民独特の
素朴さでもいいでしょう
か、東京のお客さんを連れ
て帰っても面識のない人た
ちをも大歓迎してくれるの
は、田舎のない東京の友人
たちも感激しきりです。
食べ物も美味しく、特に
夏に食べるナスの一夜漬け
は絶品です。美しい山、き
れいな川、おいしい米や野
菜…新潟県の一角の小さな
町ですが、誇りを持って皆
様に紹介できます。



夏の夜の甚句流し



豪快、英太鼓

厚文だより

共済の拡大運動

組合員と書記が一体となって

◎支部海水浴開催する
7月29日に節目の40回と
なる支部海水浴が開催され
ました。参加総数は56人と
過去最少人数ながら、ちび
っ子の元気な声の聞こえる
楽しい海水浴でした。
今年度の厚生文化部は部
長と担当書記がいっぺんに
入れ代わったため、海水浴
の企画から準備、運営まで
が不慣れな状態で行われま
した。出発は何時頃?海の

家の連絡先はどこかしら…
などなど。しかし長年厚生
文化部に所属している部員
の皆さまの助言、協力のお
陰で無事に終えることがで
きました。
今年参加されなかった方
は来年ぜひご参加下さい!
◎共済活動者会議に参加
7月16日に「第35回共済
活動者会議」が開かれまし
た。組合員と書記が一体と
なって活動しましょう。



増田広義さん

分会交流集会に参加

落合東・増田広義

7月2日～3日、2日間かけて伊香保で分会交流集会が行われました。

参加者は283人、十年ぶりの集会です。午前中は労働組合と役員の役割をテーマに大高保明先生(東京

今も深く残る

人間を畜生にした

侵略戦争

坂口忠雄さんの体験談

新宿で社会保障運動や平和運動に活躍する坂口忠雄さんは、1927年(昭和2年)生まれ。軍属として14歳のとき入隊し、満州へ。軍隊では、陰湿で野蛮な私的制裁が日常茶飯事でした。敗戦後もすぐに日本には戻れず、11年間、満州で肉体労働をしながら、カイコ棚部屋の集団生活をしました。戦争でもみくちやにされた青春。敗戦の年、間もなく18歳になろうとしていた坂口さんは、一生忘れられない出来事を体験します。坂口さんに聞きました。



坂口忠雄さん

それは、敗戦の年の8月20日過ぎのことです。虐けられ衣食にもこと欠いていた中国人らは私たちの宿舍近くの日本人住宅を襲い、掠奪をはじめました。私た

ちはその宿舍警備をやらされていて、その2日過ぎく

らいの日、数百メートル前方に1人ふたりと掠奪品担ぎ、走り過ぎようとしていたのを見ました。これまでの劣等民族として見下してきた中国人が日本人を襲撃するなんて許せないと思われ、数人が彼らを追いかけ、捕られて連行し、後ろ手に縛って宿舍の風呂場に留置しました。周辺の農民らしく、女性もふくめて6、7人はいました。

翌々日ぐらいか、私が監視中のとき1人ずつ目隠しされ、連れ出されていきました。どうされるのだろうと気になり、後をつけました。

見たとたんに足がとまり心臓が震えました。ひっぱり出された中国人は防空壕の土手に座らされていきます。その横で将校が足を開き、切腹の介錯人のような姿勢で軍刀を大上段にかまえて振り下ろし、首をはねたのです。一瞬のこと首のない胴体は前にのめって防

空壕の穴に倒れていきました。こうして全員切り殺されました。

侵略者から解放された祖国はよみがえり、これから

幸せな生活が訪れようとするときに、突然帰って来なくなった父、母の一家の生活と悲しみを思うと想像に絶するものがあります。監視中のときの彼らの恨めしそうな目、逃がしてくれと哀願するように見つめる目をいまも心にやきついてわすれることができません。なぜあのとき彼らの縄を解き、逃がしてやらなかったのかと悔やまれてなりません。軍国主義教育にすっかり染めあげられていたから

と言いつつ逃げは許されません。戦争は人間を畜生にします。自民党政治家たちは侵略戦争であったことを認めません。海外の侵略地で自分の犯した残虐行為に沈黙を守り続ける旧軍人も少なくありません。でも人間としての良心でもって、ふりかえれば、あれは侵略戦争ではなかったと言いきれる人は何人もいないはず

です。戦争によるみじめな体験、苦悩は私たちの時代だけでなくもうたくさんです。戦

争は2度と許してはなりません。いま大切なのは、戦争に

備えることなく、平和への備え、戦争を防ぐことです。

父から聞いた戦争

住吉町・川村利一

私の父は88歳で亡くなりました。来年在7回忌になります。中学生のころや田舎に帰った時に聞いた戦争の話です。

父は小柄のため、外地の戦場に行かず、内地長崎市街で、陸軍の炊事班長をし



川村利一さん

ていたそうです。長崎に原爆が投下されたとき運よく被爆しませんでしたのは、部屋の中にいて助かったからだそうです。伯父は満州で銃撃にあい死んだそうです。伯父の家族は満州にそのまま残留していました。その従兄弟たちに田舎に帰った時あったことがありましたが、言葉は通じず、両親は身振り手振りで話をしていました。戦争はいつの時代でもだめです。



川辺せつ子さん

自分の目で見て

淀橋・川辺せつ子

2000年大会の時、初めて私も参加させていただき、感じたのは、世界の平和と核兵器廃絶へ真剣に考える、語り合っていることへの感動、

世界大会に支部から青年部長の吉田君、書記の相田君、20代という若きエースが参加すると知り、私はとても嬉しい。

被爆者の方々の訴えの中で「私のような障害を持った子どもがほしいのですか」との言葉に胸がうたれたことです。

核兵器廃絶の問題は遠くの問題であるように思いますが、あらためて世界の平和を考え、広島に参加し、若い人の目で見て聞いて、戦争とはどうなるのかを知り語り継いでほしいと願います。人間

が人間らしく生きられることも人間らしく死ぬこともできないことは、人間にとってこんな不幸なことはないと私は思うから。

東京土建新宿支部 共済学習会のお知らせ

と き 8月20日(日)午後1時～
ところ 新宿農協会館

参加対象は共済推進委員(執行委員以上)と厚生文化部員、共済活動に意欲ある組合員・主婦の会役員。どけん共済の魅力を学んで、多くの仲間



松ヶ谷精肉店 江戸川橋

新鮮なお肉と手作りお惣菜のお店。
1,000円以上お買い上げの方はファミリーカードのご提示で5%引き

ファミリーカードを見せると何かサービスしてくれる、そんなお店を募集しています。

ファミリーカード登録店になると、15万部発行のガイドブックに無料掲載。ホームページでもお店を紹介し

ます。各分会2店のご紹介をお願いいたします。

使えるお店、広げよう

どけんファミリーカード

ただいま、登録店募集中





7つのマチガイ 【問題】上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります！どこでしょう？（作・野上和彦）



応募方法

- 絵を1枚きりとり、ハガキに貼って、マチガイ個所を○印で示し、支部まで送ってください。分会・住所・氏名を（家族の方は組合員の氏名も）書いて下さい。余白には新聞の感想や身近なできごとを必ず書いてください。正解者の中から抽選で10人に図書カードをプレゼントします。
- 宛先 〒169-0074新宿区北新宿4-33-9 東京土建新宿支部「しんじゅく」編集部
- 締め切り 8月24日



スイカ割りで割ったスイカをほおぼる



ママと一緒に



青年部は人気



みごと命中！



海水浴参加の組合員と家族

長びく梅雨前線の横たわる中の7月29日、支部行事の一貫である海水浴が行われ、午前8時20分発のロマンスカーに乗り、総勢56人の一団は江ノ島へと向かいました。

久しぶりの晴れ間ということで海岸は、いっぱいの人で賑わい、それぞれ楽しさを満喫しています。

書記の秋山さん、相田さんの2人の行動とともに厚文の役員さんたちの働きで恒例の「スイカ割り」から始まり、「ちびっ子相撲」に進みます。

子どもたちの真剣な取り組みに「それーがんばって！」の声援と笑い声で浜の人々も注目するほどでした。

波はちょっと荒いが本当に楽しい一日でした。来年はもっと参加者を増やすことを約束して、新宿駅で解散となりました。

【落合西・佐藤金三】

群会議の声から 7月

【四谷一六群】設計屋さん2人が組合に入ることになりました。群会議の話題の読み合わせとハガキ要請のお願いや雑談で終わりました。

【大久保五群】ハガキ要請も重要な運動ですが、1枚ならともかく、4枚いっぺんにとなると書くのが大変です。書くのに夢中で群会議の話し合いが進みません。

【大久保六群】組合員名簿を新たに作る話、書記局はどうしたのかの声が出ました。

（書記次長・高橋）

なべづる劇場 上映会
レクレーションホール 大画面で見える名画
映画「父と暮せば」

主演 宮沢りえ 原田芳雄 浅野忠信

入場 無料

◆日時 8月26日(土) 13:30開場
◆会場 住吉町社会教育会館2階 レクレーションホール

なべづる劇場 連絡先 03-3358-0534 (松本)

井上ひさしの同名戯曲を「美しい夏キリシマ」「TOMORROW明日」など、戦争をテーマに市井の人々の姿を描いてきた黒木和雄監督が完全映画化。

彼の戦争レクイエム三部作が本作でついに完成する。原爆で父や友を失い、自分だけが生き残った罪悪感に苛まれる娘を宮沢りえが熟演。わが子の幸せを思い死に切れず、愛娘の前に現れる心優しき父親を原田芳雄が演じる。

後世に語り継がれるべき悲劇を真摯に伝える入魂の一本。

新宿ことぶき会
戦争を語る夕べと
支部9条の会
結成集会

8月15日(火)
午後7:00～

支部4F会議室

教宣の夕べ（入場無料）
〇とき 8月18日(金)午後7時
〇ところ 支部地下ホール



【教宣部長・坂本 彬】

まずは、真鶴駅からバスに乗り、宮前まで行き貴船神社を取材をかねてお参りし、その後昼食を済ませ、バスで半島の三ツ石を取材。午後3時に宿に入り「いざ新聞作り」と気合を入れて書きはじめました。

今年は宿の都合で、編集の時間があまりとれず、大変忙しい学習会でしたが、ひとり一部の手書き新聞を全員が作り終え、参加者全員が頑張った2日間の学習会でした。

参加者は教宣部員6人と担当書記の秋元さん、書記の相田君や特別参加の加藤委員長と講師の千葉先生を入れて10人でした。

今年の支部教宣学校は7月17日～18日の2日間、神奈川県真鶴で学習会を開きました。初日は新宿発9時30分のロマンスカーで小田原まで、小田原から東海道線に乗り換え、真鶴駅へ。講師は昨年同様に千葉景四郎先生にお願いしました。



支部教宣学校開催
真鶴で新聞づくり